

もったいないから ありがとうへ



特定非営利活動法人フードバンク京都

〒615-8141

都府京都市西京区榎原平田町14-31

電話 080-2741-1646

1fbkyoto@gmail.com

<https://www.foodbankkyoto.com/>

理事長 高島 由美



第9号 2023.11

CONTENTS

「人のために動く」

フードバンク京都 副理事長 山村純子

「できるときにできることを」

スタッフ 大倉恵子

「フードドライブ活動に参加して」

株式会社ローム

「NPOゆんたくとフードバンク」

NPOゆんたく 北川温子

「食」のチカラ」

更生保護施設 西本願寺白光荘
施設長 石田陽子

「京都市生活困窮者自立相談 支援機関もお世話になってま す。」

京都市自立相談支援員 森 宣秋

■ 伝える～広報動画制作を通じて～

■ 賛助会員さま ご紹介

■ SOSの現場から

■ シンカプルで寄付受け中

■ フードドライブ実施中

■ フードドライブぞくぞく増加中！

■ 活動実績・提供元様

■ 畑だより

フードバンク京都のSNS



Instagram



facebook

人のために動く

フードバンク京都 副理事長 山村 純子

このたび新しく副理事長に就任しました山村純子と申します。よろしくおねがいします。

私は約6年前に「何か人の役に立ちたい」と調べているうちに、畑作業もあるところに惹かれてフードバンク京都の活動に参加しました。主に、畑作業やアソート作業、そして講演活動に携わっています。

畑では、弱った野菜が手入れを続けると復活したり、逆に甲斐なく枯れたり、獣害にあったりなど、自然界は人生と同じだなあと感じます。なぜなら「努力が実らない時も、ふいに結果が出てイキイキする瞬間もあるから」です。そして、自分が悩んで下を向いてばかりいた時に「堂々と空を向いて凜と咲いている空豆の花」を見て涙が出るほど感動しました。また、人を想って動いていると不思議に助け舟がくると感じることも多いです。この前も物価高騰のあおりを受けて、在庫のお米が底をつきかけ購入を考えていた矢先、まとまった寄付のお申し出がありました。このように色々な人の想いが重なって力となり、困っておられる方々に届いていく軌跡を見ると心から嬉しくなります。

スタッフも、頭脳明晰タイプからアイデアタイプと、多様な仲間が集まって「困っている人々の力になる」という一つの力へと結集しています。「誰のために、どうな

って欲しいか」と思って行動するのか？」など仲間の言動から日々教わることも多く、貴重な体験となっています。

そして人前で話すのが苦手だった私が、小学校の講演やラジオ出演などに携わり、小さな頃の私が見たら驚くような今を生きています。人生を振り返ると、成長するために色々な課題が目の前に現れるのだと思います。

皆さんも「あの時の、しんどいことがあったから今の自分がある」と思われたことはありませんか？私は自分が強くなれば、その分、人の力になれると思います。今、社会で起きていることに何ができるのか？一緒に考えていきませんか。

※アソート 皆さまからご寄付いただいた食品から、お困りの方の状況に合わせて詰め合わせる作業

できるときにできることを

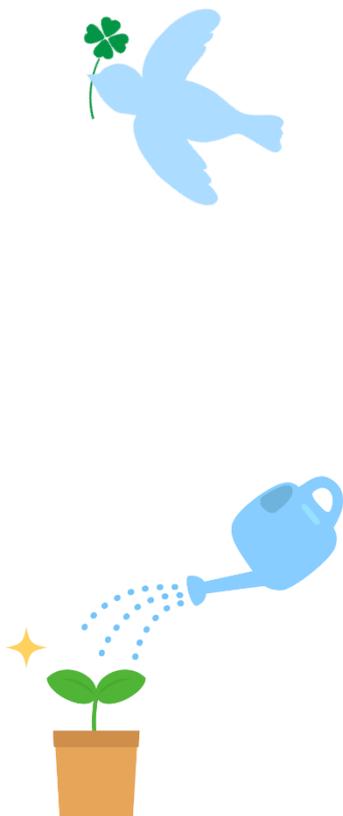
スタッフ 大倉恵子

フードバンク京都の活動に参加して丸2年になります。十年続けてきた音訳ボランティアの活動に区切りをつけようと思っていた時に、長女が「お母さんに向いてるんちゃう？」と勧めてくれたのが、フードバンクの活動でした。ネットで活動内容を調べて、やってみたい!と思い、2021年8月から参加させていただいています。

はじめは仕分けや畑の作業に、仕事の休みが合えば行く...といったポチポチ参加でしたが、今は主に配送をしています。シフト制の仕事のため、決まった曜日に必ず休みがとれるとは限らないので、定期の配送・回収は難しく、専ら緊急支援の配送と、自分の空いている時に引き取り可能なフレンドマーケットG宇治市役所前店の回収をしています。8月からは新たにファミリーマート1店舗の定期回収を受け持っています。

あれ?定期的なのは難しいんじゃないの?と思われるかもしれませんが、1か月のうち2日ぐらい希望休みがとれるので、1日をそちらに充てています。職場でもボランティアのことをおっぴらにしているので、割とすんなり休みをもらえています。最近では同僚から「昨日の休みはボランティア行ってたの?」と聞かれることもあり、少しは興味持ってもらえているのかな?と感じています。

そうやって自分の空いている時間を、誰かのために使う...できるときにできることを。ムリなくボランティアを続けていく秘訣かな?と思っています。



フードドライブ活動に参加して

株式会社ローム

ローム(株)は、2020年7月からフードドライブ活動に取り組んでいます。日本のひとり親世帯の相対的貧困率がOECD加盟国(34カ国)の中で下位に位置していること、また2020年初頭に大流行した新型コロナウイルスによって、ひとり親世帯の経済的な困窮が深刻さを増しているという記事をニュースで見たことが、取組みを開始する大きなきっかけとなりました。

ロームは創業以来、「常に地域社会との信頼関係を大切にしたい」という強い思いから、「地域社会との調和」をコンセプトに社会貢献活動や文化支援活動を積極的に行ってまいりました。創業60年あまりを経て、今もなお地域社会と接点を持ち、交流を深める活動を大切にしています。

上記の考えのもと、企業市民の一員として地域社会の課題や期待に 대응していくため、生活に困窮している方々への支援を目的に、社員参画型のフードドライブ活動を開始しました。

活動期間中は有志社員が呼びかけや社内イントラネットでの周知を積極的に行っています。当初は本社のみでの活動でしたが、3年が経った今では、本社のみならず、他拠点にも展開し、会社全体で取組みを進めています。社員参画型のイベントにすることで、地域社会、世の中の課題を社員自身が知り、考え、行動を起こすことができる機会にも繋がっています。期間中、レトルト食品や缶詰、お菓子などの食料品の他、自宅からお米(約70kg程度)を持参し寄付する社員もおり、フードドライブ活動の大切さを理解する社員が増えてきていると感じています。今後もこのような活動を通じて、企業市民として地域貢献につながる取り組みを推進してまいります。



NPO ゆんたくとフードバンク

NPO ゆんたく 北川温子

私もNPOゆんたく（ファミリーホームゆんたくホーム・自立援助ホームなんくる・子ども食堂・キッチンゆんたく）とフードバンク京都さんとは、自立援助ホームなんくるを開設したときからのお付き合いです。平成29年（2017年）からですので6年以上もお付き合い（支援）をしています。

ゆんたくホームについては、「里親が大きくなった形で施設でなく家庭養育をモットーに生活している」場所、自立援助ホームなんくるにつきましても、「施設を出てからまだまだ自立するには難しいので自立援助ホームで暮らして自立の練習をする」しかも「18歳後の子供たちが入居費を自分でだして生活している」場所という説明をしました。どちらもまだ知名度が低く一般に知れ渡っていないのですが、特に自立援助ホームなんくるの子たちが入居費を払いながら自立を目指すという趣旨に賛同していただきました。

相前後して子ども食堂「キッチンゆんたく」のオープンがあり、月1回開催で今までに78回の開催となりました。この間、コロナ禍で3回ほど自粛したのと、開催場所を3回変更しました。まず、ゆんたくホームで5年間開催していましたが、子どもたちの生活状況が変化するのあたり、ホームでの開催から地域の自治会館に移りました。が、こちらも不都合が出てきて、令和4年10月より地域の天理教さんのご好意で天理教教会に移り、毎月第3水曜日に、参加費無料で開催しています。

キッチンゆんたくを運営するにあたって、食材提供にフードバンク京都さんには本当にお世話になりました。いよいよ現在も進行中です。お世話になっていきます。

フードバンク京都さんは、事前に食材提供依頼書を提出すれば、それに対して「〇〇はOKです！〇〇は出来ません！」と開催時までに連絡してください、ホームの玄関先まで毎回届けてくださいます。本当に助かっています

うちは大方のメニューがカレーなので、ジャガイモ・玉ねぎ・人参・カレールー・お米・サイドメニューのサラダの具材のキャベツ・キュウリと多岐にわたるのですが、細かいリクエストにも答えてくださり感謝しています。食事が終わったら帰りにお菓子ボックスに手を入れて「お菓子のつかみ取り」をすることが子どもたちの楽しみの一つですが、その駄菓子についても小学生の子供たちが好きなお菓子を選んで提供してくれます。そんな優しい配慮してくれるフードバンク京都さん、私も大好きです。

フードバンク京都農園の野菜も「キッチンゆんたく」のママたちに好評でした。形は不揃いで二股になっていたりしていましたが、「これ人参の匂いがする！」と興奮していました。無農薬なことにも感心していました。とりとめもなく、書いてきましたが、「フードバンク京都」なしでは「キッチンゆんたく」の存続はあり得ません。どうぞ、これからもよろしくお願いたします。



「食」のチカラ

更生保護施設 西本願寺白光荘 施設長 石田陽子

「更生保護施設」という言葉自体、耳にされたことのある方は少ないと思います。更生保護施設は、犯罪や非行をした身寄りのない人たちを保護し、生活指導や就労支援等を行い、社会的自立を支援している施設です。白光荘は、全国で7施設しかない女性のみが入所できる更生保護施設です。定員は二十名（全個室）、十代の少女から八十歳を超える高齢者も入所しています。白光荘では、社会復帰を支援するとともに、薬物・アルコール、ギャンブル等の依存症やクレプトマニア（窃盗症）などの治療プログラムやコラーージュ、SST（社会生活技能訓練）、コグトレ（認知機能強化トレーニング）などのプログラムも行っています。非行や犯罪に関わるほとんどの女性が虐待等の劣悪な環境で育ち、性被害、DV被害を受け、搾取されるなど被害者である側面も持っているのです。一人ひとりの様々な悩みや不安を丁寧に受け止め、精神的な息の長いケアが必要です。白光荘をはじめ、更生保護施設は、国からの委託費で運営していますが、現員現額制で、施設の維持管理や職員の人件費などの固定費はどこからもいただけません。そのため、運営は不安定で厳しい現状にあります。

こうした中、白光荘が「フードバンク京都」さんの、御支援をいただけるようになったのは、平成三十年からです。保護司同士のつながりで、お野菜などをおすそ分けしていただいていた母子福祉施設からフードバンク京都さんのことをお聞きし、直接、無農薬の野菜やこんにやくなどを頂くことができます。うになり、食糧費を随分節約することができました。職員事情から、施設内で調理が難しくなり、夕食は、お弁当を外注していますが、お味噌汁とご飯だけは、職員が手作りしています。うつや対人不信、感情統制の悪さなど、彼女たちの心の安定には、食事はとても重要だと考えています。お野菜の他に、ふわっふわ、もちもちのパン、いちごやぶどうなどの果物、卵、今では、ただけけるのが当たり前のようにになって、次は、いついただけるんだろうとみんなで心待ちするようになっていきます。

女性が、ひとたび非行や犯罪に関わってしまうと、その女性の子供たちも養育環境が劣悪になって、同じように非行や犯罪に関わる可能性が生じます。こうした世代間の負の連鎖を何とかして止めたいと白光荘を退所した後も関りを持ち続け、悩みや生活の相談に応じて、再犯をしないように支援を続けています。時折ですが、委託された入所者だけでなく、DVから逃げてきた退所者など委託対象外の人も、短期間ですがシェルター代わりを受け入れたりすることもあります。女性の場合には、福祉的な支援を求めても、実際には、年齢が少し若くて介護認定が付かないとか、本人に障害受容がなかったり、障害の程度が軽度だったりして、介護や障害といった福祉の制度の狭間に落ちてしまった人たちが多く、生きづらさを抱え、自己治療のように薬物依存等の問題行動で自分をごまかし、心のバランスを保ってきたといえます。金銭管理ができずに福祉の担当者とトラブルを起こしてしまったり、ちょっとしたことでつまづいてしまったり、食べるものがなくなったりとか、生活保護の保護費を使い果たしたとか、引きこもって外出ができなくなったなどと連絡があったときに、フードバンク京都さんからいただいたパン、果物、卵、野菜などが強いチカラを発揮します。

ベーグルパンがあるよとかドーナッツがあるよなどと声掛けして、白光荘に来るように誘います。困っていると言って相談に来ることは苦手でも、パンや野菜を口実にして、「実は・・・」という話を聞くことができます。フードバンク京都さんからいただくさまざまな食品は、実家のような温もりや安心感を味わってもらうために、白光荘にとって、なくてはならないものとなっています。これからもどうぞよろしく願います。



京都市生活困窮者自立相談支援機関も

お世話になってます。

京都市自立相談支援員 森 宣秋

生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援機関は「最低限度の生活を維持：できなくなるおそれのある：経済的に困窮」した人を支援の対象にしています。「生活保護にはならないけど何か困っている人が対象」とも言えそうです。「困っているかどうか」は「できる限り幅広く」見ていくと制度に謳われています。

京都市では保健福祉局に7名（現在）の相談支援員を配置し市民の相談支援に当たっていますが、その支援は相談の比重が大きく、生活保護制度のような多様な給付メニューがありません。法定の住居確保給付金制度（主に失業者を対象に期限付きで家賃給付）の他は社会福祉協議会と連携しての生活福祉資金貸付の利用くらいしか方策を持っていません。

それでも、困窮状態にある方の相談が多くある中で、迅速に支援ができて効果も高いフードバンク京都の食料支援（以下「この支援」という。）は大変役割が大きいのです。生活保護で救済できない：「年金や給料が出るまで一時的に食べられない、外国人留学生・大学生はもともと生活保護対象から除外」：などこの支援なしには生活が守れない方々（特にコロナ禍ではこれらの人は悲惨な状態でした）がたくさんおられます。この支援は「支援の狭間」を埋める大切な社会資源です。

寄稿文を書かせていただく機会に、この支援のスタッフの皆様へ感謝と敬意を述べさせていただくとともに、感じていることを以下述べてさせていただきます。

この支援を利用する市民は、例外なく食うや食わずの極度の貧困状態にあります。そのタイミングで手厚い支援を受けたときのホッとした表情（涙

ぐまれる方もいます）を見ると「支援につなげてよかった」と思い、感謝の言葉がダイレクトに聞けて支援員自身も非常に元気づけられます。

この支援に触れる中で、栄養バランスの取れた「食生活支援」の大切さも学びました。ガスコンロが使えない人の支援に当たり「カップ麺とかレンジチンご飯だけで」と支援依頼送ったところ、スタッフの方から「蛋白源の大切さ」をご指摘いただき、電子レンジを使った簡単な卵の調理法↓「茶碗大の容器に割り入れて黄身に小さな穴をあけ（爆（は）ぜるのを防ぐ）20（秒）40秒間600ワットでチンする」教えていただきました。これに醤油をたらすと絶妙の味わいとなり、支援員自身も家庭で頻繁にやらせていただいています。

多くの場合この支援の食料受け渡し中継地となるのは区役所ですが、中にはそこまで取りに来るのが困難な人もいます。そこで本人宅最寄りの地域の支援機関（例えば地域包括支援センター）に受け取りと自動車配車による運搬も協力してもらおう取り組みを進めています。食料支援を契機に孤立した高齢者の「支援のネットワークづくり」ができた事例もあります。

最後に、私が長く携わってきた生活保護とこの支援の関係について書かせていただきます。厚生労働省の考え（生活保護手帳別冊問答集2022年度版問⁸⁻²⁹（2））では、「フードバンクから提供される食料については、原則、収入として認定しない」とされこの支援を理由に保護費が減額されることは基本的にはないとされています。「ただし、保護費を生活保護の趣旨的に反する用途に使用することで過度にフードバンクを利用するなど、家計管理が困難な世帯については、適切に家計管理を行うよう必要な助言指導を行う」ともしており、現行の京都のやり方↓「浪費ともいえる保護費の費消が激しくその改善展望のない世帯にはフードバンク支援は行わない」というのも国の考えに沿ったものと言えます。しかし、問題となるケースには精神の障害等により判断能力の低下した場合もあるため、支援機関による金銭管理をはじめとする諸支援の導入具合も見ながら、「今回だけは」として支援を行う場合があるのもやむを得ないと、私としては考えております。

伝える

—広報動画制作を通じて—

スタッフ
山崎 孝治

る施設さんなどにとっても、フードバンク京都の活動をより理解してもらう素材が出来たと思います。「伝える」ことでより多くの人に認知して頂く、応援して頂く、一緒に活動して頂くことを目指して、これからも広く伝えることを心がけていきたいと思ひます。

京都市市民活動総合センター(ひと・まち交流館内)が取り組まれている「市縁堂」(しえんどう)用にフードバンク京都の広報動画を制作しました。動画は1分30秒という限られた時間で、仕分け、アソート、配送、畑の各チームを紹介しています。

普段活動しているスタッフでも、他のチームがどのような活動しているかあまり知らなかったりしますし、まして食品を頂く企業や団体、支援してい



動画のオープニングを飾る一枚。最初は硬かった表情も撮影を重ねていくと徐々に柔らかくなり、三人の普段の表情が撮れたのでは？



仕分けチームは大学生や留学生など、初めてフードバンク活動に参加する人も多ひです。世代や職種、国籍を超えて交流しながら、楽しく活動しています。

YouTube

(フードバンク京都チャンネル)

フードバンク京都で検索！チャンネル登録、高評価をお願いします！！



動画はこちらからどうぞ♪



撮影時は炎天下で動画撮影用のスマートフォンが高熱で撮影できなくなるトラブルもありました。原稿の読み上げや、声掛けのタイミングなどが揃わず何度も撮り直した一枚です。



配送チームは単独で動くことが多く、スタッフ間でもどんな風に活動しているのか目にするのが少なかったりします。この日も配送順を考えながら積み込みをされていました。

市縁堂2023

今年のテーマは「食べる」。「食べる」ことにかかわって活動する団体で、寄付集めにチャレンジします！皆さんの応援をお願いします。

<https://shimisen-kyoto.org/shien-do-2023>



賛助会員さま ご紹介

○株式会社大将



— 京都で運送のお仕事をお探しなら —
自分のスタイルで働きやすい【株式会社大将】へ

賛助会員さまに、初めて企業さまが加わっていただきました。

SOSの 現場 から

スタッフ
高島 京子

●Amazon 欲しいものリストでの食品の寄付

広報誌前号の発行の際に、Amazon 欲しいものリストの案内もしましたところ、予想より多くの方々からの食品の寄付を頂くことができました。事務所に Amazon が届く度にワクワクドキドキしながら開ける喜びは本当にプレゼントを頂いた時の気持ちです。そこにメッセージも添えて下さる方もおられ、私たちの励みにもなりました。この場をおかりして、皆様本当に心こもったご寄付をありがとうございます！一部ですが SNS にも掲載させて頂きました。

ここ最近では、お中元シーズンで、設置しているフードドライブにも賑わいが少し戻ってきたように感じています。ですが沢山いただいた食品も本当にあっという間に必要としている家庭へお届けされ、すぐに枯渇してしまいます。生活にお困りの方がおられる以上は「もうこれで大丈夫」というものは無く、それより「あと数百円しか手持ちがありません」という SOS に常に応えています。ケガや病気などで働けなくなられたり、障害をおもちだったり、様々な理由があります。中には大家族(10人規模)のご家庭の方もおられます。家族が多いとお届けする食品も当然多くなります。ですので、業務用サイズのような食品も大変助かっております。また、主食となるお米も大変需要が高く、毎月約200kg以上使用しております。お米は頂きましたらスタッフで2kgずつ小分けにして各所へお届けしております。玄米だと保存がきくので助かりますが、白米でも受け付けております。

引き続き Amazon 欲しいものリストからでもご寄付を募っております。Amazon からでなくてもどういった食品が必要としているのか参考に見て下さるだけでも構いません。下記の QR コードからご覧ください。皆さまのご理解ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



↑ Amazon 欲しいものリスト QRコード

Amazon 欲しいものリスト 作りました。

ご寄付の仕方が選べるようになりました

フードバンク京都は完全ボランティア団体です。皆さまから寄せられたご寄付が活動の資金となります。どうか皆さまのお力添えよろしくお願い致します。

●シンカブルのサイトからクレジットカードでご寄付

- 1) 賛助会員(毎月自動的に寄付) 一口1,000円
- 2) 一回のみのご寄付

●ゆうちょ銀行・金融機関からご寄付

- 1) ゆうちょ銀行 記号：14450 番号：43891781
トク)フードバンクキョウト

※ゆうちょ銀行以外の銀行から振り込まれる場合は下記口座をご指定ください。

【店名】四四八 【店番】448 【預金種目】普通預金 【口座番号】4389178

- 2) 京都銀行 西桂支店 普通預金 番号：3711349 トク)フードバンクキョウト

 Syncable



シンカブルで検索も出来ます。
シンカブルで検索→シンカブルのサイトを見つける→「団体を探す」→フードバンク京都で検索→「寄付する」を選んでください

フードドライブ実施中！

期間中は施設内に専用のボックスを設置しています。是非ご家庭にある食品をお持ちよりください♪集められた食品はフードバンク京都に寄付されます。実施する店舗及び施設は下記をご覧ください。

- グルメシティ上桂店(常設)
- グルメシティ北山店(常設)
- グルメシティ嵯峨店(常設)
- ダイエー瀬田店(常設)
- ダイエー桂南店(常設)
- イオンフードスタイル東向日店(常設)
- イオンフードスタイル山科柳辻店(常設)
- KOHYO京都店(常設)
- KOHYO北大路店(常設)
- KOHYO上七軒店(常設)
- KOHYO八幡店(常設)
- マックスバリュ藤森店(常設)
- アル・プラザ亀岡(常設)
- フレンドマートG宇治市役所前店(常設)
- フレンドマート梅津店(常設)
- ドネーションシップわかちあい(常設)
- くわの実保育園(常設)
- コープ下鴨(第1土～日曜、第3火～水曜)
- コープらくさい(第1土～日曜、第3火～水曜)
- コープきぬがさ(第1土～日曜、第3火～水曜)
- コープにしがも(第1土～日曜、第3火～水曜)
- コープいわくら(第1土～日曜、第3火～水曜)
- ファミリーマート桂西滝川町店(常設)
- ファミリーマート向日南淀井店(常設)
- ファミリーマート長岡京野添店(常設)
- ファミリーマート今里二丁目店(常設)
- ファミリーマート長岡京調子店(常設)
- ファミリーマート大山崎町円明寺店(常設)
- ファミリーマート宇治中川原店(常設)
- フレンドマート梅津店(常設)
- 東山社会福祉協議会(常設)
- パチンコ山科KBホール(景品のご寄付)



チラシ配りもしました！

フレンドマート 梅津店

「フードドライブを広げて食品ロス削減にも貢献していきたい！」
京都府京都市右京区梅津中村町
37-1
075-873-3620



ファミリーマート 長岡京調子店

長岡京市3店舗目、阪急西山天王山駅近くの賑やかなお店です！主食やお惣菜、ジュース、お菓子など続々とご寄付をいただいております☆
長岡京市調子2-68-1
075-959-3717



ファミリーマート 大山崎町円明寺店

地域の店舗で初めてフードドライブに参加していただきました！開始早々、主食や調味料などたくさんのご寄付をいただいております☆
大山崎町円明寺小字鳥居前
5番地7
075-959-3957



ファミリーマート 宇治中川原店

フードコート、お客様の目に付きやすい場所に設置していただいております！
宇治市榎島町石橋64
0774-25-3090

活動実績 (2023年4月~2023年9月)

(1)施設などへの定期的な支援活動	
① 母子生活支援施設	3カ所/75回 /2,880kg
② 児童養護施設・更生保護施設など	3カ所/71回 /1,843kg
③ 子ども食堂	9カ所/58回 /2,803kg
(2)支援活動団体への支援活動	
支援団体	5カ所/31回 /2,413kg

(3)個人への緊急支援	
行政等を通じた個人への緊急支援	390回 /8,291kg
(1)~(3)支援活動の合計	625回 18,229kg
(4)フードドライブ回収量	
定期:小売店(企業数6/店舗数27)単 発:8回	3,526kg
(5)農園による生産活動	
トマト・なす・とうがらし・万願寺・ピーマン・ブロッコリー・ズッキーニ・きゅうり・いちじく・キウイ	

助成金 (2023年4月~2024年3月)

- WAM 社会福祉振興助成事業令和4年補正分
- 京都市生活困窮者支援団体への活動支援事業
- 農林水産省「フードバンク活動強化緊急対策事業」専門家派遣

ご提供いただいた皆さま (2023年4月~2023年9月) 順不同

- | | | |
|--------------------------|------------------|--------------------------------------|
| ■ コストコホールセールジャパン株式会社 | ■ 明石農園 | ■ 三井住友信託銀行京都支店 兼 京都四条支店 |
| ■ 京都文化・芸術・スポーツ振興会 | ■ 川口酒造株式会社 | ■ パークハイアット京都 |
| ■ 京都インターナショナルスクール (賛助会員) | ■ 株式会社テモテ | ■ 四条河原町温泉空庭テラス 京都・別邸鴨川 |
| ■ くわのまつむぎ会 | ■ 株式会社松尾商店 | ■ 農林水産省近畿農政局経営・事業支援部食品企業課 容器包装リサイクル係 |
| ■ 京都葵ライオンズクラブ | ■ 来迎寺 | ■ 公益財団法人京都市学校給食協会 |
| ■ 京都薫風ライオンズクラブ | ■ ディオニー株式会社 | ■ 同志社国際学院初等部 |
| ■ 京都紫明ライオンズクラブ | ■ 晴鴨楼 | ■ ホテルグランヴィア京都 |
| ■ 京都パレスライオンズクラブ | ■ 岸本農園 | ■ 京都市立陵ヶ岡小学校 |
| ■ 京都ロイヤルライオンズクラブ | ■ 京都市医療衛生企画課 | ■ 社会福祉法人横大路こども園 |
| ■ 中村くらしを見直す会 | ■ 京都市教育委員会(学校給食) | ■ 京都市福祉サービス協会西七条事務所 |
| ■ 矢野食品株式会社 | ■ 京都府コロナ療養者支援用食品 | ■ 浄念寺 |
| ■ グランヴィア京都 | ■ 近畿農政局 | ■ 立命館小学校 |
| ■ 湯浅農園 | ■ 亀岡中部農地整備事業所 | |
| ■ 株式会社オクペイント | ■ リゾートトラスト株式会社 | |
| ■ ローム株式会社 | ■ 日本新薬株式会社 | |
| ■ 生活協同組合コープ自然派京都 | ■ かみひとネットワーク | |
| ■ 京都夜回りの会 | ■ 地球愛まつりin京都 | |
| ■ 株式会社坂の途中 | ■ 亀岡市社会福祉協議会 | |
| | ■ 株式会社イシダ | |
| | ■ 高田クリニック | |

※その他、多くの個人さまからもご提供いただいておりますが、個人情報保護のため伏せさせていただきます。

9月 フードバンク京都農園の様子

今はこんなお野菜を
育てています！



フードバンク京都にはボランティアスタッフが無農薬でお野菜を育てている農園があります。このコーナーでは、今育てているお野菜やスタッフをご紹介します。



「農と自然」

フードバンク京都では、京都市西京区大原野に農園があり、農薬や化学肥料を使わず、安心安全な野菜を育て、その野菜を支援先に提供しています。私は、その農園のお手伝いをさせていただいています。

個人では、自然に沿った農を志し、不耕起・無肥料で野菜を栽培しています。

自然に沿うということは、自然の循環に沿うという

ことだと思います。植物は、根から吸い上げた養分と CO2と日光で光合成をすることで生きています。養分を吸い上げるために水も必要です。CO2は大気中にたくさんありますし、日光も無限に降り注いでいます。養分は微生物によって植物が吸収できるものが生成されます。これには自然の循環が関連していると思います。循環、言い換えれば、誰かから誰かに何かを渡す、つまり、自然は与えること(=利他)によって成り立っているのではないかと思います。

野菜は種から育ちます。種ができ、それが大地におちて、また野菜が育ちます。これは植物の命の循環とも言えます。これも自然の循環の一部だと思います。

このように、自然は人が手を加えなくてもお互いに与えることによって循環し、命も循環していくのだと思います。人びとは、そのことを忘れて、それほど重要ではないことに意識を向け、そのことで悩み、患っているところが少なからずあるのではないかと思います。

このような農は、何が正解なのか中々分かりません。また、野菜の栽培は1年単位なので、ゆっくりとしか進んでいけません。そして、未だに何も分かっていないことに気づかされる日々です。それでも、そのような意識を持ち続けることで、周囲の方々が自然の循環に興味を持つ(思い出す)きっかけになればと思います。

